

以下、本文-----

Dual energy CT における生食後押しの有用性

1. 研究の対象

2017 年 4 月～2024 年 3 月までに当院で放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

DECTでは任意の単一エネルギー画像が作成可能であり、低エネルギー画像では腫瘍の描出能向上、高エネルギー画像では金属アーチファクトの低減など、その用途は多岐にわたる。これらDECTにより取得される画像と生食後押しのみ組み合わせによりさらなる画質向上が期待される。生食後押しあり、なし群間でCT値、SNR、主観的評価等で画質を比較する。

研究予定期間： 倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： CT 画像、MRI 画像など、放射線治療実施に必要であった情報

試料： なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 鷺尾 颯 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上